

令和4年洞爺湖町教育委員会第4回定例会会議録

日 時	令和4年10月31日（月） 13:30より
場 所	役場第2委員会室
出席委員	教 育 長 渋 川 賢 一 委 員 吉 田 聡 委 員 来 栖 由 喜 委 員 岡 本 里 佳
欠席委員	委 員 岩 崎 義 久
説明員	管理課長 高 橋 謙 介 社会教育課長 原 美 夏 社会教育課参事 角 田 隆 志
会議録調整者	管理課主査 大 楽 泰 生
傍 聴 者	無し
日 程 第 1 【開会宣言】	渋川教育長 開会を宣言する。（13:30）
日 程 第 2 【前回会議録の承認】	渋川教育長 各委員の署名により、承認を確認。
日 程 第 3 【教育長諸般の報告】	渋川教育長 9／ 6 永年勤続者表彰伝達表彰（虻田中学校） 9／ 9 虻田中学校学校祭（虻田中学校前庭） 〃 永年勤続者表彰伝達表彰（とうや小学校） 〃 故岡田光弘氏葬儀（伊達市） 9／10 入江保育所運動会（あぶた体育館） 9／12 町議会9月会議（議事堂） ～21 決算特別委員会（第2委員会室） 9／17 本町保育所運動会（あぶた体育館） 9／21 保育所複合化検討委員会（役場202会議室） 〃 教育目標と教育ビジョン見直し検討委員会（防災研修ホール） 9／22 洞爺保育所運動会（財田キャンプ場体育館） 9／23 洞爺中学校学校祭（洞爺中学校体育館）

日 程 第 4 【 報 告 事 項 】 ・ 報告第 3 1 号	9 / 2 8 洞爺地区地域懇談会(洞爺総合センター集会室) 1 0 / 3 辞令交付 (防災研修ホール) 1 0 / 5 連合北海道、北教組要請対応 (町長室) 1 0 / 7 定例校長会議 (第 2 委員会室) ” 文化振興基金運営委員会 (第 2 委員会室) ” スポーツ振興基金運営委員会 (第 2 委員会室) 1 0 / 8 洞爺湖町総合文化祭ステージ部門 (洞爺湖文化センター) 1 0 / 1 5 地学協働学習フォーラム(入江・高砂貝塚館) ” 洞爺湖町総合文化祭展示部門 (あぶた体育館) 1 0 / 1 8 洞爺湖町スタンダード5研修委員会 (役場 3 0 2 会議室) 1 0 / 1 9 新任教育長研修会 (ホテルライフオート札幌) 1 0 / 2 0 定例教頭会議 (第 2 委員会室) 1 0 / 2 4 全員協議会 (第 2 委員会室) 1 0 / 2 7 男女共同参観推進委員会 (第 1 委員会室) 1 0 / 2 8 三豊市表敬訪問への対応(役場町長室) 1 0 / 2 9 洞爺湖芸術館砂澤ビッキ展 (洞爺湖芸術館) 1 0 / 3 1 教育委員会議 (第 2 委員会室) 渋川教育長 日程第 4、報告事項でございます。 報告第 3 1 号、臨時代理の報告について、 洞爺湖町議会、令和 4 年 9 月会議提出一般会計補正予算第 5 号について事務局より報告をお願いいたします。 高橋管理課長 報告第 31 号、議案書 2 ページ目からになります。 臨時代理の報告について御報告申し上げます。 洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条第 1 項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので同条第 2 項の規定によりこれを報告するものでございます。 3 ページ目、洞爺湖町教育委員会に対し町長が予算の意見を求める文書になります。 4 ページ目、それに対して教育委員会より、異議はない旨の通知となっております。 補正予算の内容につきましては、6 ページ目以降の事項別明細によりご説明いたします。 6 ページ目、歳入関係になります。 今回の補正予算の歳入に関しましては、昨年 12 月に保育士の処遇改善 3%の上積みを行うというような国の施策のもと、国家予算において、本年 9 月までの総額分 10 分の 10 の予算措置がされたことに伴い、当町におきましても会計年度任用職員に限って 3 月の議会で条例を改正し調整手当を創設したところで
--	--

あり、それに伴う国、道からの補助金分を補正したというような内容となっております。

中身について説明いたします。

15 款国庫支出金、1 項国庫負担金、1 目民生費国庫負担金、補正額 359 千円になります。子どものための教育・保育給付費負担金となっております。

こちらについては町内幼稚園の幼稚園教諭の処遇改善にかかわる部分の費用と、国庫負担金分という形になっており、これが令和 4 年 10 月からの分です。続きまして、2 項国庫補助金、1 目総務費国庫補助金、275 千円総務費補助金について。

こちらは保育士等の処遇改善につきまして調整手当を創設したという形で、給与システムの改修費にかかる費用でございます。

続きましてその下、2 目民生費国庫補助金、2,463 千円を補正してございます。

この内訳が右側の 2 節児童福祉費補助金 448 千円と 3 節保育所費補助金 2,015 千円の合計で補正しております。

まず一つ目が、子ども・子育て支援交付金（95 千円）。これは学童保育の部分になり 10 月以降分になります。

保育士等処遇改善臨時特例交付金（353 千円）。これは 10 月までの分、10 分の 10。学童保育の国から入ってくるお金となっております。

保育所費補助金 2,015 千円につきましては、洞爺湖幼稚園の先生と保育所の保育士会計年度任用職員の保育士の方々に関わる、今年 9 月までの手当負担額となっております。

16 款道支出金、1 項道負担金、1 目民生費道負担金、179 千円につきまして。道のほうから補助金がかかる分でございます、179 千円については、幼稚園分の 10 月以降、その分の道費負担分の補助金 179 千円という形になってございます。

2 項道補助金、1 目民生費道補助金につきまして。

こちらは学童保育部分の道が補填する部分の補助金 95 千円というような形の歳入補正予算という形になってございます。

7 ページ目、歳出でございます。

3 款民生費、4 項児童福祉費、1 目児童福祉総務費で 1,437 千円補正してございます。

こちらは、町内幼稚園 6 人分の処遇改善に相当する部分の費用負担分 1,437 千円を 4 月から来年 3 月分まで含めて補正した金額でございます。

続きまして 5 項保育所費、2 目常設保育所費、1,660 千円補正してございます。

町の保育所の会計年度任用職員の保育士分 28 人、3 月分までの処遇手当分の改善費用という形になってございます。

続きまして 10 款教育費、1 項教育総務費、2 目事務局費の中の積立金、育英資金等教育振興基金積立金を 1,260 千円減額してございます。

こちらについては、総務課で行っております、ふるさと納税の積立割合が、変更になったというような形での積立金の減額補正でございます。

続きまして 8 ページ目お願いいたします。

中ほどより上あたり、14 款新型コロナウイルス感染症対策費、1 項新型コロナウイルス感染症対策費、1 目生活支援対策費 2, 251 千円の減額補正をしてございます。

右側 1 番上の負担金補助及び交付金で、学校給食センターの補助金分で 21 万円減額してございます。

こちらは、7 月 8 月分に新型コロナウイルスの臨時創生交付金を使って、給食費の免除という形で実施してございますが、予算計上時にはまだ状況がわからない部分があり、就学援助分の数が見通せなかったということがございまして、実績により執行残として就学援助分等の部分を減額補正するというような内容でございます。

管理課所管等については以上でございます。

原社会教育課長

続きまして社会教育課所管分でございます。7 ページをお開きください。

10 款教育費、4 項社会教育費、1 目社会教育総務費です。

補正額は 1, 180 千円の増額です。

右側、1 節の報酬から 8 節の旅費につきまして、6 月 30 日付けで退職した職員の欠員をこれまで再任用職員で期限つきで補填していましたが、改めて会計年度職員を事務補助として採用し業務を補うものです。

続きまして、3 目社会教育施設費、補正額等 2, 981 千円の増額です。

右側の報酬 569 千円の増額は、児童会運営事業の昇給処遇改善臨時特別事業における放課後児童クラブ支援員の処遇改善を行うものです。

次に需用費、729 千円の増額は社会教育施設維持管理事業、虻田ふれあいセンターにおける排煙窓の操作の不具合改善の修繕費です。

続きまして 8 ページをお開きください。

5 項保健体育費、2 目体育施設費、補正額 1, 601 千円の増額です。

10 節需用費は、洞爺湖町プール前の道路と接続している町道 12 号線の舗装工事に伴い、通路との接続部分に段差が生じたことによる段差解消とマンホールの切り下げを行う修繕料です。

以上、社会教育所管の説明を終わります。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

それでは以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

続きまして、報告第 32 号、臨時代理の報告について、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動についてお願いいたします。

高橋管理課長

報告第 32 号、臨時代理の報告についてでございます。

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条第 1 項の規定により、

別紙のとおり臨時代理したので、同条 2 項の規定によりこれを報告するものでございます。

内容といたしましては、別冊で洞爺湖町教育委員会部局人事異動内示書というものがあるかとございます。そちらめくっていただきまして 1 ページ目でございます。

本年 10 月 1 日付けで、管理課主幹でありました尾崎文郎さんが、町長部局経済部建設課主幹に異動というような内容でございます。それに伴いまして、観光振興課主査でありました大楽泰生さんが管理課主査として教育委員会のほうに着任するというような人事異動内容でございます。

以上御報告申し上げます。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

それでは以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

続きまして、報告第 33 号、令和 4 年度全国学力学習状況調査の結果概要についてお願いいたします。

高橋管理課長

報告第 33 号、令和 4 年度全国学力・学習状況調査の結果概要について、次のとおり報告いたします。

1. 調査期日 令和 4 年 4 月 19 日火曜日
2. 調査の対象学年 小学校第 6 学年、中学校第 3 学年でございます。
3. 調査を実施した学校児童生徒数でございます。

小学校につきましては 3 校、中学校につきましては 2 校でございます。児童生徒数につきましては、表に書いております 1 番右側、令和 4 年 4 月という数字のところ。小学校 50 名、中学校 44 名の 94 名参加してございます。

4. 調査の内容につきましては、教科に関する調査といたしまして身に付けていなければ後々影響を及ぼす内容等の知識や技能、そういったものを。あとは今後生活していく上で、課題解決のための構想を立て、実践し、評価、改善する力等を内容としてございます。

5. 生活習慣や学習環境に関する調査。児童生徒に関する調査。学校に関する調査といったような調査内容となっております。

なお、詳細につきましては、後ほど協議会の中のほうで御報告させていただきます。

以上です。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいですか。

《「なし」の声あり。》

それでは、以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

・報告第34号

す。

続きまして報告第34号、管理課所管の各種事務事業の取組状況についてお願いいたします。

高橋管理課長

報告第34号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について報告いたします。

1. 寄附について。

この度、次の方より寄附の申し出がありご厚志に添うようありがたく受納いたしました。食材の寄附として、洞爺給食センターへ町内大原在住の寺嶋政明さんからロロンカボチャ8個、ネットメロン8個、大根30キロをご寄贈いただいております。

2. 公立高等学校配置計画について。

9月6日北海道教育委員会は令和5年度から令和7年度に係る公立学校配置計画と、令和8年度から令和11年度までの見通しを公表しました。胆振西学区に関しては、本年4月に公表された計画案からの変更はなく、令和5年度に伊達開来高等学校で1学級増や、室蘭栄高等学校で1学級減、令和7年度に室蘭工業高等学校で1学級減などとなっています。また令和8年度から令和11年度までの見通しとして、4年間で公私比率勘案後3～4学級に相当する中卒者の減。中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況を考慮し、最大学級数を設置する室蘭市を中心に周辺市を含め、再編整備を含めた定員調整の検討が必要となっています。

なお、虻田高等学校が含まれる地域連携特例校に関しては、5月1日の第1学年の在籍者数が20人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした、地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した上で、再編整備を留保としています。この内容に沿い令和4年度の1年生の在籍者数が21人の虻田高等学校については、令和7年度は再編整備の対象外となっております。

3. 洞爺湖町学校給食センター給食検討懇談会の設置及び委員の委嘱についてでございます。

洞爺湖町学校給食センターについては令和3年度に設置した洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会の提言において、洞爺給食センターを改修し活用することが望ましいとの方向性が示されました。統合された新しい給食センターにおいて提供する給食について、これまで長年にわたり運営してきた虻田給食センターと洞爺給食センターのソフト面におけるすぐれた取り組みを引き継ぎ、安全・安心な給食提供を継続することなどを検討するため、洞爺湖町学校給食センター給食検討懇談会を設置し、第1回会議を9月20日に開催し次の方々を委員に委嘱いたしました。

第1回会議では委員長及び副委員長の互選に続き、昨年度の検討委員会の検討状況や提言内容、統合後の課題などの説明と質疑応答を行いました。

今後においては、教育長の依頼に応じ、令和5年2月末日をめどに報告書をいただくこととしております。なお、名簿の読み上げは省略いたします。

続きまして 13 ページ目でございます。

4. 第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの見直し検討委員会の設置及び委員の委嘱について。

平成 28 年に策定した第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンについて、計画期間、平成 29 年度から令和 8 年度の 5 年を経過し、この間小学校では児童生徒の 1 人 1 台コンピューター端末が整備され、また小学校では外国語が教科化になるなど、教育環境も大きく変わっています。このようなことから洞爺湖町の教育の方向性を示す教育目標と教育ビジョンの中間見直しを行う、第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの見直し検討委員会を設置し、第 1 回会議を 9 月 21 日に開催し、次の方々を委員に委嘱しました。

第 1 回会議では委員長及び副委員長の互選に続き、計画見直しに係るアンケート調査の実施などについて協議しました。今後においては、教育長の諮問に応じ、令和 5 年 1 月中旬を目途に答申をいただくこととしております。なお名簿の読み上げは省略いたします。

続きまして 14 ページ目でございます。

5. 姉妹都市箱根町との中学生交流事業についてでございます。10 月 14 日、姉妹都市箱根町の中学生と、洞爺湖町の中学生が昨年引き続きオンライン交流を実施したので報告いたします。

オンライン交流は、コロナ禍において滞在による相互交流が困難なことから、昨年度から実施しているもので、当町の虻田中学校及び洞爺中学校、オンライン交流は洞爺中学校初参加でございますが、それと、箱根町中学校をオンラインで結んで、3 校の生徒会役員がそれぞれの学校の取り組みなどを紹介するとともに、好きな給食は何か、など質問し合うなど、笑顔はじける和やかで楽しい交流となりました。なおこのほかに、交流の記念として両町の産物などを交換しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により 2 年続けてのオンライン交流となりましたが、本交流事業については、従来の滞在型の相互交流が基本的な交流の在り方と考えておりますので、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、箱根町と十分に協議のうえ、次年度以降執り進めてまいります。

6 番目、学校給食の異物混入でございます。

虻田小学校で 9 月 27 日火曜日に供給いたしました塩ラーメンに直径 1 ミリ程度の昆虫が混入していました。児童生徒が喫食後に発見したことから、大変不快な思いとご迷惑おかけいたしました。

同校では 8 月 30 日も異物混入があり、再びこのような事案が発生し、同校の保護者の皆様に対し深くおわびを申し上げるとともに、調理過程での混入なのかなど、業者に調査の依頼をしたところ、昆虫の種類はアブラ虫であり、具材のホウレン草に付着していたものが、調理過程で除去できず、混入したものと判明いたしました。

今後このようなことが起きないように、関係者一同、調理過程においてさらなる細心の注意を払い、安心安全な給食提供に努めてまいります。

・ 報告第 3 5 号 日 程 第 5 【 そ の 他 】	なお、こちらのほうには記載してございませんが、これまで新型コロナウイルス感染症の感染状況という形で児童生徒の人数を報告しておりましたが、9 月 26 日以降の全数把握の見直しということで、町においても具体的な人数というのが把握できないというような状況になってきておりますので、今回からその報告は除いております。 今後は学年閉鎖とか 1 日 10 人以上の感染があった際、そういったような状況があったときには、こちらの報告のほうに載せていこうというふう思っております。 なお、そういった事例について、前回会議以降の状況につきましては、虻田中学校 2 年生で 10 月 8 日から 12 日まで、洞爺湖温泉小学校の 3、4 年生で 10 月 29 日から 11 月 2 日まで、2 名以上の感染が出て学年閉鎖をしているというところでございます。 以上御報告申し上げます。 渋川教育長 質問あればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。 《「なし」の声あり。》 それでは、以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。 続きまして報告第 35 号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況についてお願いいたします。 角田社会教育参事 それでは議案書 15 ページになります。 報告第 35 号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について次のとおり報告するものでございます。 地学協働フォーラムの開催について。世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産、入江・高砂貝塚と北黄金貝塚の魅力を紹介するオンラインフォーラムが 10 月 15 日土曜日に開催されました。フォーラムは錬成会グループと洞爺湖町、伊達市の両教育委員会の主催で 60 人がオンラインで参加しました。 洞爺湖町からは虻田中学校 3 年生 3 名が「私たちの町の世界遺産」と題して、入江・高砂貝塚の歴史や特徴について解説したり、伊達緑丘高校の生徒と質問をやりとりするなど、世界遺産としての価値や魅力を発信いたしました。 以上でございます。 渋川教育長 質問があればお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。 《「なし」の声あり。》 それでは以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。 それでは本日議決事項ございませんので、日程第 5 その他ということですが、委員の皆様から何かありますでしょうか。
--	--

日 程 第 6 【 閉 会 】	《「なし」の声あり。》 事務局いかがですか。 高橋管理課長 ありません。 渋川教育長 以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会令和４年第３回定例会を終了いたします。 13：52 閉会
-------------------------------	--